

フードロス削減と防災教育に活用
市内41の小中学校、義務教育学校に
災害時備蓄品を配布します



ターゲット 13.1

2025年3月3日

郡山市総務部

防災危機管理課

課長 熊田 重美

TEL：924-2168

SDGs ターゲット 13.1 「すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱化（レジリエンス）及びその適応の能力を強化する。」

東日本大震災から14年を経過するにあたり、災害への備えの大切さを再認識する機会の創出とともに、家庭備蓄の推進などの防災意識の向上や、フードロス削減及びサーキュラーエコノミー（循環型経済）の推進を図るため、賞味期限の近い災害時備蓄品を小中学校、義務教育学校に配布します。

今後においても、これまでの配布実績及び被災状況等を踏まえ、計画的に配布してまいります。

- 1 配布物 災害時備蓄品（アルファ米） 6,750食
災害時備蓄品（クラッカー） 6,160食

- 2 配布学校（41校）配布対象者：全児童及び全生徒

小学校 (25校)	金透小学校、開成小学校、芳賀小学校、桃見台小学校、富田小学校、富田西小学校、大槻小学校、白岩小学校、東芳小学校、桑野小学校、緑ヶ丘第一小学校、小山田小学校、朝日が丘小学校、片平小学校、喜久田小学校、日和田小学校、高倉小学校、行健小学校、行徳小学校、熱海小学校、安子島小学校、谷田川小学校、御館小学校、宮城小学校、海老根小学校
中学校 (15校)	郡山第一中学校、郡山第四中学校、郡山第六中学校、郡山第七中学校、富田中学校、大槻中学校、小原田中学校、片平中学校、喜久田中学校、日和田中学校、行健中学校、熱海中学校、守山中学校、御館中学校、宮城中学校
義務教育学校 (1校)	湖南小中学校

- 3 取材申込等

児童及び生徒への配布、学校独自の防災講話の取組等への取材等については、各学校まで直接お問合せ願います。

[参考] 過去3年間の備蓄食料等の購入実績

年度	品目	購入実績額（千円）
2024年度	レトルトご飯、クッキー等	3,621
2023年度	レトルトご飯、クッキー等	5,922
2022年度	アルファ米、クラッカー等	1,382